

# バンカートスクール 2019年2月-3月 募集案内

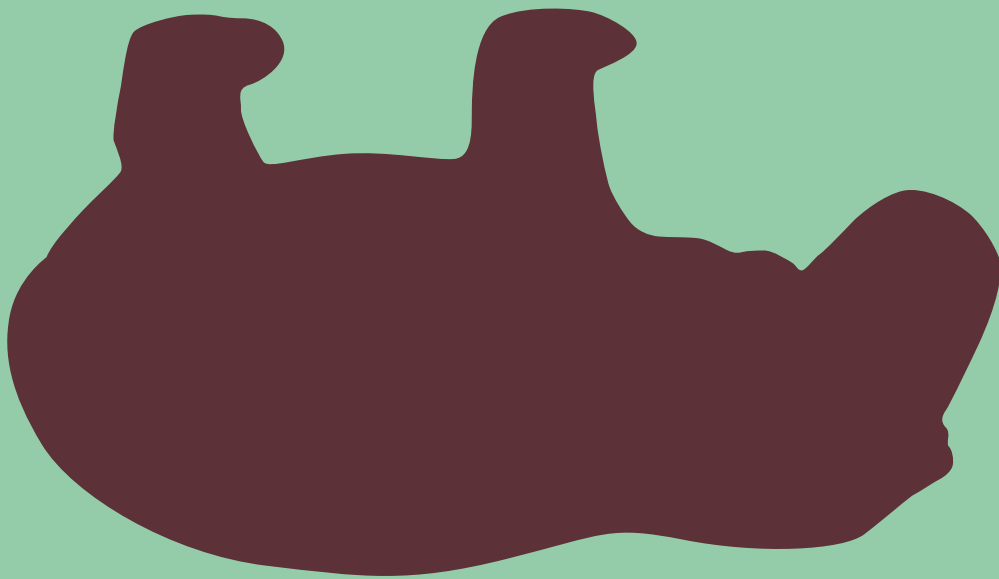
月 | 「なぜ写真か? part2」 鈴木理策 @BankART Home

火 | 「朝鮮通信使 part3」 仲尾 宏、他 @BankART SILK

水 | 「不連続統一体・発見的手法」 TeamZOO @BankART Station

木 | 「美術館の読み方、楽しみ方3世界編」 村田 真 + 和田菜穂子 @BankART Home

金 | 「歴史的建造物保存活用のターニングポイント」 @BankART SILK



# BankARTschool

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。と書いてから早15年。場所は「馬車道に残る歴史的建造物」から日本郵船の倉庫へ、関内の泰生ビルへ、そしていままた泰生ビルに加え、シルクセンター、新高島駅へと拡大しましたが、中身は大して代わり映えしません。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。この15年の間に299講座、述べ969人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4700人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座を受けたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

(バンカートスクール校長 村田 真)

月 19:30 - 21:00

BankART Home

「なぜ写真か? part2」鈴木理策、他

〔ゲスト〕金川晋吾、多和田有希、菅 実花、三野 新、川崎 祐、鷹野隆大

- ①2/4 ②2/18 ③2/25 ④3/4
- ⑤3/11 ⑥3/18 ⑦3/25 ⑧4/1



前回のゼミの第二弾。写真というメディアを通して魅力的な作品を発表する現代作家をゲストに招き、それぞれのテーマと作家研究を行う。全8回の内、ゲスト回は2回目～7回目、初回と最終回は鈴木が受講生の作品講評を行います。(初回は各自の写真作品を持参して下さい。)

※定員オーバーした場合は初めての方優先。

- ①2/4 鈴木理策 ⑤3/11 三野 新
- ②2/18 金川晋吾 ⑥3/18 川崎 祐
- ③2/25 多和田有希 ⑦3/25 鷹野隆大
- ④3/4 菅 実花 ⑧4/1 鈴木理策

すぎざ・りさく | 写真家。1963年和歌山県新宮市生まれ。2000年に写真集『PILES OF TIME』で第25回木村伊兵衛写真賞受賞。写真集に『Water Mirror』(2017年)、『SAKURA』(2017年)、『Étrude』(2017年)、『海と山のあいだ』(2015年)、『意識の流れ』(2015年)、『Atelier of Cézanne』(2013年)等。

火 19:30 - 21:00

BankART SILK

「朝鮮通信使 part3」仲尾 宏、他

- ①2/5 ②2/12 ③2/19 ④2/26
- ⑤3/5 ⑥3/12 ⑦3/19 ⑧3/26

江戸期の平和と文化の交流「朝鮮通信使」を主題としながら、日韓の新しい関係構築を継続的にやってきた「釜山文化財団」と「NPO法人 朝鮮通信使縁地連絡協議会」は、規模的にも質的にも目まぐるしい展開をとげ、「ユネスコの世界記憶遺産登録」というひとつの金字塔を打ち立てた。BankART1929もこうした動きと連動しながら、多面的な活動をおこなってきた。BankARTスクールとしてPart3にあたる今回は、こうした成果を踏まえ、朝鮮通信使研究の第一人者の仲尾宏氏を、再び講師及びコーディネーターとしてお招きし、歴史的な視点を復習するとともに、これまでの実践的な活動の総括と展開を様々なひとたちを招きながら、多角的にゼミを進めていく。

- ①2/5 仲尾 宏(京都造形芸術大学客員教授、朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員長) ユネスコ「世界の記録」登録の意義
- ②2/12 チョ・ジョンユン+キム・ヒョンスン(釜山文化財団文化遺産チーム)「現代に蘇った朝鮮通信使～釜山文化財団が行っている朝鮮通信使日韓文化交流事業」
- ③2/19 池田 修(BankART1929) 「続・朝鮮通信使のこれまでの歩み」
- ④2/26 町田一仁(下関市立歴史博物館館長) 「朝鮮通信使に対する取り組み・下関」
- ⑤3/5 金井三喜雄(写真家)「日韓友情ウォーク」の成功
- ⑥3/12 仲尾 宏+ベ・リファ(舞踊家) 「2017年京都大会成功を振り返って」
- ⑦3/19 江藤善章+小川 満(川越唐人揃いバレード実行委員会) 「川越唐人揃い」
- ⑧3/26 仲尾 宏「これからの日韓関係と通信使～対馬の未来と朝鮮通信使」

水 19:30 - 21:00

BankART Station

「不連続統一体・発見的手法」 Team ZOO

- ①2/6 ②2/13 ③2/20 ④2/27
- ⑤3/6 ⑥3/13 ⑦3/20 ⑧3/27

横浜創造界隈を形成している丸山欣也氏のかつてのパートナー象設計集団/Team ZOOをお招きする。

- ①2/6 富田玲子(象設計集団)
- ②2/13 齊藤祐子(アトリエSITE)
- ③2/20 丸山欣也(アトリエモビル)
- ④2/27 羽瀨雅己+山田晶子(かめ設計室)
- ⑤3/6 内田文雄(龍環境設計)
- ⑥3/13 西尾貞臣(アトリエ修羅)
- ⑦3/20 松井正澄(アトリエトド)
- ⑧3/27 坂元 卯(象設計集団)

象設計集団 | 1971年に、吉阪隆正の下にいた大竹康市と樋口裕康、富田玲子、重村力、有村桂子の5名によって発足された。代表作品には、日本建築学会賞を受賞した沖縄県の名護市庁舎がある。

Team Zoo | 象設計集団と協働する人々や象設計集団から独立した人々がTeam Zooとして活動している。

木 19:30 - 21:00

BankART Home

「美術館の読み方、楽しみ方3 世界編」 村田 真+和田菜穂子

- ①2/7 ②2/14 ③2/21 ④2/28
- ⑤3/7 ⑥3/14 ⑦3/21 ⑧3/28



美術館という存在を、歴史、コレクション、建築などの観点から読み解く講座。今回は対象を世界のミュージアムへと広がります。

- ① 2/7 村田「フランス1」 ⑤ 3/7 和田「ドイツ1」
- ② 2/14 和田「フランス2」 ⑥ 3/14 村田「ドイツ2」
- ③ 2/21 村田「イタリア」 ⑦ 3/21 和田「デンマーク」
- ④ 2/28 和田「スイス」 ⑧ 3/28 村田「イギリス」

むらた・まこと | 美術ジャーナリスト、画家。東京造形大学、慶応義塾大学、実践女子大学非常勤講師、BankARTスクール校長も務める。朝日新聞、北海道新聞、ウェブマガジン「アートスケープ」などに執筆。主な著書に『アートのみかた』、編書に『いかに戦争は描かれたか』(どちらもBankART1929)など。

わだ・なほこ | 一般社団法人東京建築アクセスポイント代表理事、慶応義塾大学非常勤講師。神奈川県立近代美術館、コペンハーゲン大学などに勤務。建築やアートの分野を横断し、キュレーションやアートマネジメントの活動を行う。主な著書に『北欧モダンハウス』(学芸出版社)、『北欧建築紀行』(山川出版社)など。

金 19:30 - 21:00 / 土 18:30 - 21:00

BankART SILK

「歴史的建造物保存活用のターニングポイント」

- ①2/15 ②3/8 ③3/15 ④3/16
- ⑤3/22 ⑥3/29 ⑦4/6 ⑧4/13

このゼミで主にフォーカスしたいのは、戦後の建造物です。築70～60年を越える建物群が、市民に共有(保存)されておらず、いつのまにか解体してしまうという状況の中、次の世代に何をリレーしていく事が大切なかを議論したいと思います。

- ① 2/15【金】 梶山祐実(横浜市都市デザイン室)
- ② 3/8【金】 下間久美子(文化庁文化財第二課)
- ③ 3/15【金】 吉田鋼市(元横浜国立大学教授)
- ④ 3/16【土】 シンポジウム(1) 曾我部昌史(神奈川大学)、笠原一人(京都工芸繊維大学)、柳澤 潤(関東学院大学)、佐々木龍郎(佐々木設計事務所)
- ⑤ 3/22【金】 伊藤 隆(三井不動産レジデンシャル株式会社)
- ⑥ 3/29【金】 恵良隆二(元三菱地所株式会社/横浜市芸術文化振興財団)
- ⑦ 4/6【土】 シンポジウム(2) 関 和明(関東学院大学工学部)、吉田鋼市(元横浜国立大学)、後藤 治(工学院大学/横浜市歴史的景観保全委員)、青木祐介(横浜市都市発展記念館)
- ⑧ 4/13【土】 シンポジウム(3) 西村幸夫(横浜市都市美対策審議会)、鈴木伸治(横浜市立大学)、野原 卓(横浜国立大学)、梶山祐実(横浜市都市デザイン室)

通常ゼミ | 金曜19:30～21:00(20名程度)  
シンポジウム | 土曜18:30～21:00(40名程度)  
※シンポジウムは単発受講可1,500円/回

BankART schoolの概要

時間 = 19:30～21:00

会場 = BankART Home

横浜市中区相生町3-61泰生ビル1F  
JR関内駅、みなとみらい線「馬車道駅」  
徒歩5分

BankART SILK

横浜市中区山下町1シルクセンター内1F  
みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩3分

BankART Station

横浜西区みなとみらい5-1  
みなとみらい線「新高島駅」地下1F構内

料金 = 1講座(全8回) 12,000円

入学金3,000円(初めての方のみ)

定員 = 18名

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。

※一旦納入された受講料は返金できません。  
※講座によっては別途材料費・資料代がかかる場合があります。  
※申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ

BankARTスクール事務局  
school@bankart1929.com  
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813